

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「ウエスタン・ホスピタリティ協会研修施設改修計画」  
贈与契約署名式**

2019年2月13日、キングストン市内のテラ・ノバ・ホテルにおいて、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウエスタン・ホスピタリティ協会研修施設改修計画」の贈与契約署名式が開催されました。

山崎大使は、挨拶の中で、ウエスタン・ホスピタリティ協会が、観光業就職に必要な技能・知識を提供することで地域の雇用率向上や治安改善を後押ししていることを高く評価し、今回の計画はジャマイカ西部の若者の未来を開くものであり、贈与契約式を迎えることができ光栄であると述べました。また、世界のすべての人々が質の良い教育環境を享受できるようになることは、我が国の基本理念である人間の安全保障に基づく重要な目標であり、本計画の実現によって、ウエスタン・ホスピタリティ協会ですぶ生徒や卒業生が一層飛躍することを期待していると述べました。

ジャマイカ西部のウエストモアランド県は、国内屈指の観光地の一つであるネグリル町を擁していますが、観光業に就くために必要な技能や知識を習得する教育施設は同協会のみであり、教室数の不足や老朽化に直面していました。

今回の計画では、同協会に85,094米ドルが供与され、既存の研修施設が改修されます。これによって、生徒たちにとって適切な教育環境が確保され、地域全体の雇用状況の改善に繋がることが期待されています。

今般の署名式には、被供与団体である同協会の代表、リード教育・青年・情報大臣、教育・学校関係者、報道機関係者などの来賓が出席しました。

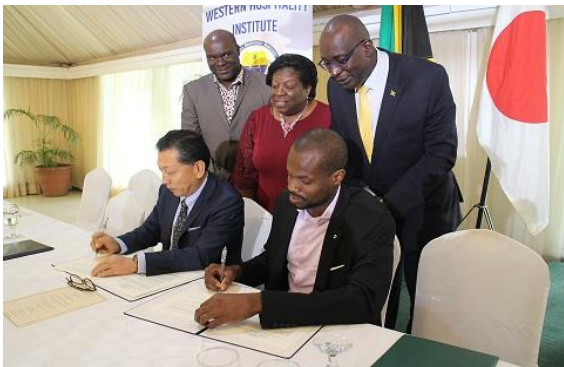
ジャマイカ側を代表して挨拶したリード教育・青年・情報大臣は、日本政府の本計画に対する協力は重要性を増す一方の観光業における雇用状況や職業訓練機会の不足の改善に大きく寄与するものであり、国内外に通用する優秀な人材が輩出されることを期待しているとして、日本に対する心からの感謝を述べました。



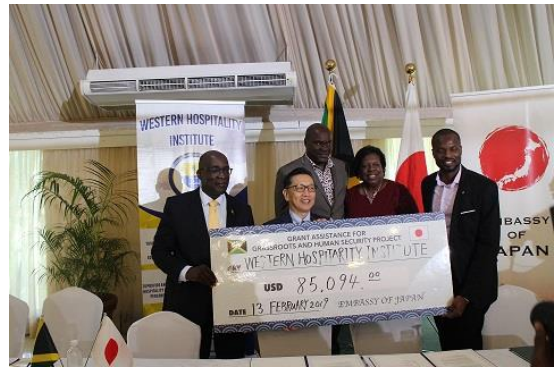
挨拶する山崎大使



日本の支援に感謝を述べるルエル・リード  
教育・青年・情報大臣



署名する山崎大使とジャフラスキ・ヤング・ウエスタン・ホスピタリティ協会・ネグリル校校長



左からリード大臣、山崎大使、コーンウォール理事長、エヴォン第三次教育合同委員会副理事長、ヤング校長



日本への感謝を歌で披露したウエスタン・ホスピタリティ協会生徒の代表



感謝を述べるシンプソン・ウエスタン・ホスピタリティ協会キャンスマネジャー